

新型コロナウイルス対策と地域医療 事務部長 福安教男

日本国内で初めて新型コロナウイルスウィルス感染者が現れた令和2年2月以降、現在まで、当院の利用者様には院内に感染を持ち込まないための取り組みに協力いただきありがとうございます。

この間、ワクチン接種の推進と、皆さまの感染を拡大しないための取り組みにより一時は感染が縮小しましたが、新たな変異株が出現し過去にないほどのスピードで感染が拡大しています。県内においても連日感染最多人数を更新するなど、まだまだ予断を許さない状況にあるといえます。今後とも、感染症の拡大防止に一層努めて参りますので、引き続きご理解、協力をお願いします。

さて、当院は皆さまが住み慣れた家・地域で安心して過ごしていただくため、「智頭町ならではの地域医療」の実現に向けた取り組みを推進しているところです。一方で人口減少による外来・入院患者

の減少や、婦人科医師不在に伴う診療科や健診メニューの減少など、当院を取り巻く環境はますます厳しい状況です。

この状況を打開するため、今年度は特に内科診療と訪問診療の充実を図ってまいります。訪問診療は、通院することが困難な患者様に対し、診療計画を立て、定期的に自宅に伺い診療を行う医療サービスです。通院や在宅での療養に不安がある時は気軽に相談ください。また、医療・介護・福祉部門がワンストップでサービスを提供する体制を継続するとともに、持続可能な地域包括ケアシステムを強力に推進します。

地域の皆さまにおかれましては、「かかりつけ医」として近くの智頭病院を利用いただき、病院を支えていただくことができますようお願いいたします。



動脈硬化について 検査室

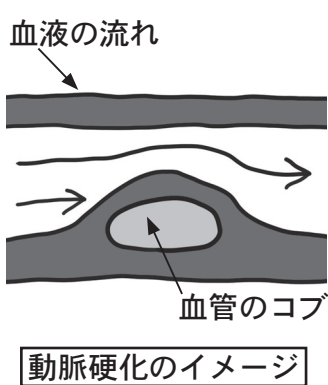
検査室では住民の皆様の健康を支えるために、さまざまな検査を行っています。

今回は、誰もが一度は耳にする「動脈硬化」とその検査について考えてみましょう。

動脈硬化とその始まり

動脈硬化は自覚症状なく進行し、突然、心臓や脳等の病気を起こします。

動脈硬化は血管の老化により起こります。健康で若い血管は、弾力がありしなやかですが、年齢を重ねると血管も老化し硬くなっていきます。また、血管の内側がコブのように盛り上がり、血液の通り道が狭くなり、詰まってしまうことがあります。



動脈硬化の検査

○当院で行っている検査

- ・頸動脈エコー検査
- ・首元に医療機器を当て、動脈を見る検査です。血管の厚さや、血液の通り道が狭くなっていないかを見ることができます。
- ・ABI検査(腕と足の血圧比) ベッドに寝て、腕と足首の血圧を測る検査です。その差から、血管の硬さや詰まりの程度がわかります。

あなたの血管は大丈夫？

動脈硬化は生活習慣とも深く関わっています。「脂質異常」「高血圧」「高血糖」「喫煙」などの危険因子が多いほど血管の老化を促進させてしまいます。動脈硬化をすすめないために生活習慣を見直し、早期発見のため健康診断を毎年受けることが重要です。

心当たりのある人はかかりつけ医に相談したり、内科を受診しましょう。